

施工ガイド

注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

- **本製品は屋内専用です。**
屋外や浴室等での使用は、湿気、水濡れ、強い直射日光などにより、腐れや剥離、割れ等の劣化が進む原因となります。
 - **内装壁面材です。床、屋外では使用できません。**
 - **天井での使用は、然るべき安全対策を行った取り付け方法で施工してください。**
 - **RC、ALC、モルタル面への直貼りはできません。**
 - **下地材の選定及び構造が、建築基準法や火災防止条例等の法令・条例に適合したものであるかご確認ください。**
- 禁止事項**
- **開封・取付け後は、必要に応じて換気を行ってください。**
 - **加工する際は、保護メガネ・防塵マスクを着けて作業をしてください。**
 - **接着剤や両面テープの接着材面を皮膚に接触させないようにしてください。**
 - **製品の運搬取り扱いの際は、保護手袋を着用してください。**
 - **粉塵が皮膚に付着したり目・鼻・口に入った場合は直ちに洗い流し、異常を感じた場合には医師の診断を受けてください。**
- 必ず行う**
- **表面に保護フィルムを貼った場合、高温となる場所での保管はお控えください。**
 - **製品の移動を行う際は、地面と垂直に持ち二人で運搬してください。**
 - **立て掛け、地面への直置きはせず、パレットに平積みしてください。**
 - **雨水、水掛かりする場所や直射日光の当たる場所、低温(0℃以下)、高温(50℃以上)、高湿(90%以上)となる場所での保管はしないでください。**
 - **基材の特性により0.2%程の収縮がおきます。**
- 製品の保管・管理等**

下地の確認

施工可能な下地の例

- **せっこうボード (推奨 12.5mm 以上)**
 - **ケイ酸カルシウム板 (推奨 6mm 以上、プライマー処理必要)**
 - **ラワン合板 (推奨 9mm以上、プライマー処理必要)**
- ※ 下地にケイ酸カルシウム板・ラワン合板を用いる場合、事前にプライマーの処理が必要です
- ※ 上記の下地の場合でも、下地表面に塗装などが施されている場合は接着不良により剥がれる可能性がありますのでご注意ください。
- ※ 下地材の選定及び構造が、建築基準法や火災防止条例等の法令・条例に適合したものであるかをご確認下さい。

施工が出来ない下地の例

- **RC 壁、ALC、モルタル面、結露・湿気を帯びた下地**

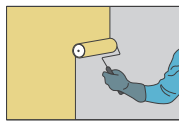
施工が出来ない環境

- **屋外、浴室など湿気、水濡れ、結露が予想される場所**
- **低温(0℃以下)、高温(50℃以上)、高湿(90%以上)の場所**

施工の手順

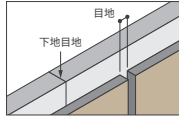
推奨工法：コニシ株式会社 ボンド TM 工法

① プライマーの処理



- 下地がケイ酸カルシウム板・合板の場合は予め前面にプライマー処理を塗布してください。(推奨：コニシ㈱/ボンド シールプライマー#7)

② 割付け



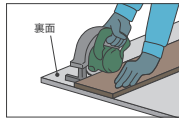
- 下地の目地と仕上げ材の目地が重ならないように割付けてください。

③ 目地テープ貼り



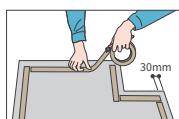
- 目地に合わせて目地テープを貼ってください。

④ カット加工



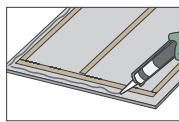
- 切断を行う際は、必ず**化粧面にマスキングテープを貼り、刃物を表面から入れ裏面から出るようにしてください。**
- ※ マスキングテープを貼らない場合、本体が欠ける場合があります。

⑤ 仮留めテープ貼り



- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布する為の**スペースを30mm**あけて、仮留めテープを貼ってください。(推奨：コニシ㈱/ボンド TM テープ W1、ボンド TM テープ R1)

⑥ 接着剤塗布



- 接着剤は高さ 4 mm で塗布してください。
- **仕上げ材の外周には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布が無い場合や、塗布量が少ない場合には端部の浮きが生じる可能性があります。)**
- 接着剤塗布後 **10 分以内** に貼付け圧着をしてください。(推奨：コニシ㈱/ボンド SU25、ボンド MPX-1)

⑦ 貼付け



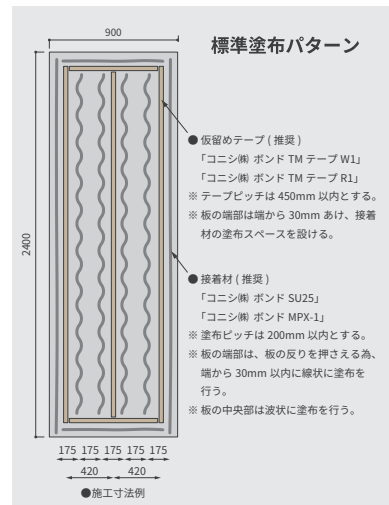
- 隣の板と柄が合うよう調整を行い、中央部に浮きが発生しないように注意して仕上げ材を貼付けてください。
- **仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。**
- ※ 先に接着剤を押さえると、仮留めテープが着かず接着不良となる恐れがあります。

⑧ 養生・施工完了

- 当て傷、擦り傷等がつかないように養生材で保護してください。ゴムテープなどの接着力の高いものは直接製品に使用しないでください。
- 金属箔部分に養生テープ等を貼る際はテープの糊跡が残る場合がありますのでご注意ください。
- 表面保護にフィルムが貼られている際はゆっくりとはがしてください。勢いよくはがすと表面のツキ板が部分的にささくれる可能性がありますのでご注意ください。

● 周辺部材 (推奨)

- ・ プライマー : コニシ株式会社 - ボンドシールプライマー #7
- ・ 仮留めテープ : コニシ株式会社 - ボンド TM テープ R1
ボンド TM テープ W1
- ・ 接着剤 : コニシ株式会社 - ボンド SU25
ボンド MPX-1



NG 施工例

● ゴムハンマー等で直接たく施工方法

- ・ 製品を取り付ける際に、ゴムハンマー等で直接叩いて行う施工方法は製品にヘコミが生じますので絶対にお止めください。



● 運搬用吸盤等 (サクシヨシリフター) による施工方法

- ・ 吸盤を用いて運搬を行うと製品内部での層間剥離が生じる恐れがありますのでお止めください。

